

我が子のために詫びる

校長 石神 徹

教員の質問に小指を動かして反応する、友だちの発言をうなずきながら聞く、自分の考えを懸命に綴る、自分で考えた授業のまとめをはにかみながら披露する、三学期授業の姿です。

全体発表で堂々と台詞を述べる、繰り返し練習した担当楽器を懸命に演奏する、立ち位置を目配せして友だちに伝える、年下の子どもにいたわるように教える、三学期各行事の姿です。

学校生活ではりあいをもって、がんばりを見せる子どもたちですが、成功だけでつなぐわけにはいかないことも。時に過ちがあります。

地域の方などからお叱り・連絡・相談を受けることがあります。人に怪我をさせてしまう。物を破損してしまふ。遊んでいて民有地に入ってしまう。地域の公園で大声を上げるなど迷惑行為をしてしまふ。同地で危険な遊びをしてしまふ。ごみを道端に捨ててしまふ。交通ルールを守らない・・・。

子どもの成長は行きつ戻りつではありますが、厳に繰り返さないよう、心しなければなりません。

子どもに過ちがあったときに、保護者がお詫びすることがあります。保護者が子どもとともに被害に遭われた方にお詫びするのです。子どもは自分のいけなさに目を向け、反省し、誠実に過ごそうときっと心に留めたことでしょう。保護者の姿勢に、学校として校外生活まで子どもを導けなかった至らなさを受け止めるとともに、感謝するところです。

このような場合でも、子どもには言い分があります。特に関係する子どもが複数に渡る事例など。子どもの理、子どもの分、子どもの言い訳を聞くと保護者として子どもを守りたくなるのは当然です。しかし、過ちがあっても理由があれば、仕方ないとして、済ませてしまふと、子どもは過ちに正対することができません。理由があれば、同様な過ちを繰り返してしまふ、その際、強弁し、逆に周りを攻めていくなどしては、結果として、子どもの成長につなげることができません。

私たち教員は保護者の姿に学ぶことが多いです。我が子はもちろんのこと、周りの子どものことを考えて、収め、語る保護者に教員は力をいただいて、学習指導・生活指導に当たります。可塑性のある子どもたちの過ちを過ちで終わらせず、成長につなげることは大人の責務です。「親権がある」「監護・教育を全うする」といった言葉を越えて、保護者の生き様・対処の様は子どもの宝となり得るものです。

厳冬にとらわれ、見向きもしなかった正門の河津桜や白梅には新たな花卉が生まれていました。一年生チューリップのたくましい芽は青空をのぞいていました。弥生三月を迎え、冒頭の姿はさらに磨かれています。子どもたちの声は自信に満ちています。この自信は保護者の分身に私には見えるのです。

3月の生活目標

《一年間のしめくくりをしよう》

生活指導主任 久保淳太郎

今年度もいよいよしめくくりの月となりました。

子供たちは、一人一人、学校で、地域で、また様々な場所でたくさんのことを学び、心身共に成長してきました。この一年間で自分ができるようになったこと、いろいろとチャレンジしたこと、失敗して学んだことなど自分のことを振り返りながら、それらを自信につなげて次の学年へのステップアップにしてほしいと考えます。

学校だけでなく地域の一員として、社会のきまりを守ることにしても地域、保護者の方々より様々な声をかけていただきました。公園やみんなでする場所の遊び方、交通ルール、SNSルールについても大人がよい見本になり、子供たちが気持ちよく新学年を迎えられるよう指導していきたいと思ひます。

3月の行事予定

- 1日(木) 安全指導
- 2日(金) 6年生を送る会(3・4校時)
お別れ給食会 避難訓練
- 5日(月) 全校朝会 委員会(5・6年生6校時)
- 6日(火) 午前授業(1～5年生)
巣立ちの会(6年生14:00～)
- 7日(水) 児童集会
研究全体会
- 8日(木) 送別球技大会(5・6年生5・6校時)
- 9日(金) 送別球技大会予備日
- 12日(月) 全校朝会
- 14日(水) 集会なし
- 19日(月) 卒業式準備(5年生6校時)
- 20日(火) 卒業式予行練習(5・6年生5・6校時)
(1～4年生午前授業)
- 21日(水) 春分の日
- 22日(木) 修了式 午前授業 給食終
- 23日(金) 第136回卒業式
(1～4年生は休業日)
- 24日(土) 春季休業日始

※4月6日(金) 始業式 入学式

※4月14日(土) は第二土曜日ですが、授業日ではありません。

6年生を送る会・お別れ給食会

特活部 高橋 史樹

3月2日(金)3、4時間目に「6年生を送る会」そして、給食の時間には「お別れ給食会」が行われます。今までお世話になった6年生に感謝の思いを伝えようと、各学年が出し物の準備をしています。毎年どの学年も様々な工夫をして6年生に思いを伝えます。そして、6年生から5年生へたてわり班の役割の引き継ぎも行い、5年生にとっては「来年度は自分たちが開一小をこれから引っ張っていくんだ」という決意に満ちた会でもあります。

どの学年も、この一年間のお互いの成長を実感しつつ、共に来年度への希望を膨らませる会でもあります。開一小の子供たちの優しく温かい心がいっぱいいつまった素敵な会になることでしょう。

パワーアップしました！

2年 担任一同

もうすぐ3年生になる子供たち。この1年間でたくさんのことを経験し、いろいろなことができるようになりました。子供たちの声を紹介します。

- かけ算九九をすらすら言えるようになった
- 漢字をたくさん覚えて、ていねいに書けた
- 給食を残さず食べられるようになった
- 大きな声で歌えるようになった
- 鍵盤ハーモニカで指またぎや指くぐりができるようになった
- 音読が上手になった
- なわとびや鉄棒で、できる技が増えた
- 友達と仲良くできるようになった

できることが増えていく中で、子供たちは自信をつけていきます。自分も友達も大切にできる3年生をめざして、さらに大きく成長して欲しいと願っています。

もうすぐ2年生

1年 担任一同

入学してからこの一年間の一年生の成長には、目を見張るものがあります。「6年生を送る会」に向けて、また、新入生を迎えるための準備を進める中で、入学した頃の自分たちのことをふり返りました。

○平仮名や漢字をきれいに書くようになった。○たくさんの友だちと外遊びができるようになった。○自分のことは、自分でできるようになった。○朝読書で、本を読むことが大好きになった。○最初は、友だちに「遊びに入れて」や「遊ぼう」と言えなかったけれど、今は言えるようになった。○掃除はとても大切だと思いつながり、きれいに掃除ができるようになった。などが挙げられました。

友達とのかかわりが深まり、クラスへの所属意識が芽生え、安心して学校生活を送っている様子が見られます。子供たちもこの一年間の成長を自ら実感しているようで、2年生へ向けてさらにパワーアップしていくことに、担任一同期待が膨らみます。

最上級生に向けて

5年 担任一同

先月は6年生と、たてわり班の引き継ぎの打ち合わせを行いました。そしてその引き継ぎを踏まえて、今月の「6年生を送る会」や「お別れ給食・遊び」では、5年生がリーダーシップを発揮して班をまとめていくこととなります。いよいよ自分たちが中心となって学校を動かしていくこととなり、張り切って活動する子供達の姿が見受けられます。1ヶ月後は、いよいよ最上級生となります。開一小の最上級生として、様々な場面でリーダーとしての役割が求められてきます。その時に十分に活躍できるよう、残りの1ヶ月を大切に過ごして欲しいと願っています。

卒業に向けて

6年 担任一同

子供たちにとって、開一小での集大成としての1ヶ月が始まります。卒業に向けての意識をもって、行事・活動に取り組むことができるように、アルバム文集・6年生を送る会、巣立ちの会・会食・奉仕活動・送別球技大会・卒業式実行委員を立ち上げ、活動を進めてきました。学級では、卒業へのカウントダウンカレンダーを作り、残りわずかな学校生活を大切にしています。

3月に入ると、6年生を送る会・巣立ちの会・修了式、卒業式と、大きな行事が待っています。

一人一人が責任と自覚をもって、最後まで「全力で取り組む」ことを心に留めて、活動してほしいと願っています。そして、23日には立派な姿で巣立っていく86名を送り出したいと思います。

